



国際交流員の活動日誌

vol.42

See you later!



「とりあえずさようなら」 Goodbye For Now

こんにちは！シャネンです。今月は伊達市の最初の印象を話したいと思います。私が初めて伊達市に来たのは、2012年で17歳でした。それまで伊達市は田舎だと思っていたので牛がいると思っ
ていましたが、代わりに米と果物の畑がたくさんありました。伊達市の果物はどこよりもおいしいと確信しています。当たり前のように思われていることでも、訪問者にとっては印象的です。

伊達市の歴史はとつても面白いですが、私が毎年参加していたほばらサマーフェスティバルの開催場所は、昔陣屋があった場所で、現在「陣屋通り」と言われています。そのほかにも、伊達氏発祥の地として様々な歴史が残っています。国際交流員として働いた3年間、伊達、梁川、保原、霊山、月館、どこに行っても必ずふるさとについて教えてくれる人がいました。私はそれらすべての人々に感謝しています。伊達市を散策して話を聞くことで、市の歴史について多くを学びました。悲しいですが、今のところ、とりあえずさようならを言わなければなりません。国際交流員の活動は8月末で終了し、家族と一緒に住むためにアメリカへ帰国します。伊達市で見た美しい庭園と同じように、私も庭の手入れを始めるかもしれません。どんな時も、伊達市が笑顔であふれる場所になるように応援します。今まで本当にありがとうございました。そして、何よりも、安全で健康を維持してください！

地域の魅力 ふる里再発見

伊達市の古墳群 (4)

～村絵図に描かれた古墳～

伊達市の古墳
企画展開催

9/22 ※まで
保原歴史文化資料館

村絵図とは、江戸時代に村ごとに作成された絵図です。絵図の中には、田畑・屋敷・道・水路・寺社など景観が描かれています。

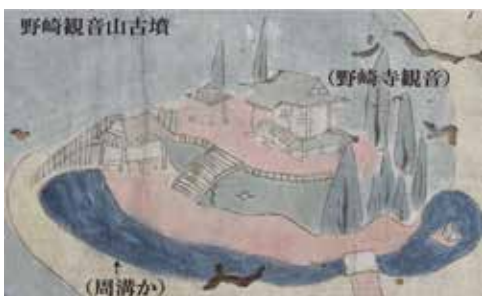
左下の絵図は、江戸時代後半に作成された旧中村の絵図です。明治9年(1876年)に中村・下保原・市柳村と合併して保原村となり、現在の保原町警前通・内町・上野崎・五丁目・三丁目・下野崎・中村町・野崎・東野崎・実町・弥生町・四丁目を示します。

道の中央に水路が走り、高札場も描かれています。古墳は2カ所確認することができ、観音塚古墳と野崎観音山古墳です。観音塚古墳は、現在の長谷寺南側に位置し、墳頂には卯花広智寺観音(信達三十三観音めぐり第24番目)があります。太平洋戦争中に墳丘を防空壕として利用するため横穴

を掘削しましたが、巨石にあたり、掘削を断念したと伝えられています。

野崎観音山古墳は現在の阿武隈急行保原駅の南西に所在します。墳頂には野崎寺観音(信達三十三観音めぐり第25番目)があります。古墳の周溝と推定される池が残っています。

絵図を手掛かりに、観音様をお参りしながら、悠久の歴史に触れてみてはいかがでしょうか。



野崎観音山古墳の絵図